

まちづくりメイヤーズフォーラムの意見と対応

開催	項目	区分	カテゴリ	ご意見の要旨	対応・方針	ページ	具体的対策
1 第9回	DX	追記	暮らしやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ポストコロナではDXなどでまちづくりにも変化が出てくる。 ・オンラインで様々な事が出来る時代。人々の価値観も変化してきた。 	基本的な考え方への反映	30	IV章2(3)暮らしやすさの向上 ①安心して暮らせる地域づくり 子育て、DX追加
2 第9回	公共交通	追記	暮らしやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通を担う人手不足。ボランティアでは立ちゆかない。 ・地域のビジネスとして住民参加の新たな動きが必要。 	基本的な考え方への反映	30	IV章2(3)暮らしやすさの向上 ③生活や物流交通の確保 デジタル技術、持続的なネットワークの確保について追加
3 第9回	公共交通	追記	暮らしやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バスに変わりデマンドなどを検討する自治体が多いが、持続可能か考える議論も必要。 ・公共交通は移動できることが重要。補助金を貰うことがゴールでなく、持続可能なビジネスとして検討を進める事が重要。 	基本的な考え方への反映	30	IV章3(3)暮らしやすさの向上 ③生活交通や物流交通の確保 「人」「モノ」「サービス」の一体的、効率的な仕組みの構築やドローン輸送等の新技術の活用に向けた環境整備、事業者や地域とした輸送の「共同化」「効率化」の促進などにより、地域の暮らし、産業を支える持続的な輸送ネットワークを確保し、物流の効率化を図る。
4 第9回	移住定住	追記	暮らしやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・一昔前の移住とは違い、若い世代の移住が増加。能力のある方が移住し、活躍してくれている。また、移住には子育て、医療、福祉などの環境が整備され、住みやすいと感じてもらえる事が重要。 	基本的な考え方への反映	30	IV章2(3)暮らしやすさの向上 ①安心して暮らせる地域づくり 若年層を中心に地方移住への関心が高まっている事を踏まえ、安心して子育てできる社会の形成を図り、移住や定住などの促進に繋げる。
5 第9回	地域コミュニティ		コンパクトなまちづくり及び進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ維持のためにも施設の集約は必要である。また、方法など全てを行政にまかせるのではなく、住民主体で考え、決定することが、地方自治として必要。 	現在の考え方で記入済み		《施設の集約》 (1)コンパクトなまちづくり ②公共施設集約の集約 《検討方法》 3進め方 将来ビジョンの共有
6 第9回	地域コミュニティ			<ul style="list-style-type: none"> ・地域通貨を活用し、道内で経済循環するサービスが人口減少社会の地域づくりに必要。 	今後の参考		
7 第9回	地域コミュニティ	追記	暮らしやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・住んでいる方々が共感できるコミュニティを作ることが重要。 	基本的な考え方への反映	30	III章12(2)暮らしやすさの向上 ②地域を支えるコミュニティづくり 追加
8 第9回	地域コミュニティ	追記	実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・昔は子供を軸としたコミュニティがあったが、少子高齢化などにより、現在は、まちづくり会社などが行政で手の届かないところを補完 	基本的な考え方への反映	40	V章1(2)企業やNPO等の団体 中心市街地のまちづくりを担うまちづくり会社や地域の様々な福祉課題の解決等に取り組むコミュニティソーシャルワーカーなどを地域コミュニティを運営する新たな担い手として活用
9 第9回	SDGs	追記	現状と課題及び各取組	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs未来都市の選定を受け、子供たちが世界的な課題を意識するようになった。 ・SDGsを実現しようとする企業に投資が流れている傾向。自治体も同様であり、実現できるところには企業からの投資がある。 ・北海道はカーボンニュートラルの観点からも多くのチャンスがある。 	基本的な考え方への反映	17	II章3(2)SDGsの推進 追加 IV章北の住まいるタウンの取組 ・関連するSDGsの目標を記載
10 第8回	防災	追記	コンパクトなまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生を「時」の予測から「場」の予測へと視点を変えてまちづくりを行っていく必要がある 	基本的な考え方への反映	28	IV章2(1)コンパクトなまちづくり ⑥災害リスクを踏まえたコンパクト化 追加
11 第8回	防災	追記	暮らしやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・防災機能を備えた庁舎建設への住民合意の形成や農協の災害時における広域的機能の発揮、災害に備えたネットワーク形成が重要である。 	基本的な考え方への反映	30	IV章2(3)暮らしやすさの向上 ②地域を支えるコミュニティづくり 追加
12 第7回	資源循環	追記	脱炭素化・資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ・地域にある資源を地域で回すことにより、新たな雇用が生まれ、安定的な雇用が可能になる。 	基本的な考え方への反映	29	IV章2(2)脱炭素化・資源循環 ⑤地域でのエネルギー地産地消の取組 追加
13 第7回	多様な役割	追記	実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス事業における多分野での協力、大学における学部間連携、大学と企業による共同開発など、今まで関係を持たなかったものが一緒になることで新しいものが生まれる可能性がある 	文言追記	40	V章1(4)大学などの教育研究機関 大学などの教育研究機関は、行政や企業などと連携し、まちづくりを担う人材の育成や地域課題の解決に向けた助言など、地域で様々な取組を展開し、地域を支えることが期待
14 第7回	多様な役割		地域を支える多様な主体の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりにおいては民間・行政の協力、部局間連携が重要である。 	現在の考え方で記入済み		V章 1 地域を支える多様な主体の役割
15 第6回	イノベーション	追記	進め方	<ul style="list-style-type: none"> ・地域においてもいろいろな価値観、習慣が違う人たちにより、創造的摩擦が絶えず生まれることで新たなイノベーションが生まれる。 ・地域の特徴や強みを伸ばしていくことが地域イノベーションのきっかけになる。 	基本的な考え方への反映	33	IV章3進め方 全面修正
16 第6回	雇用の創出	追記	北の住まいるタウンの実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の主体的な活動が地域を活性化し、地域ビジネスを育てていく。 	文言追記	40	V章1(3)市町村 民間事業者の参画促進や創意工夫による低コスト化を視野に入れ、PFIやPPPといった民間の資金や経営ノウハウを活かす取組を検討するなど、民間事業者が事業に参入しやすい環境づくりが効果的
17 第5回	移住定住	追記	暮らしやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の移住定住促進には、教育環境の整備が重要である。 	基本的な考え方への反映	30	IV章2(3)暮らしやすさの向上 ①安心して暮らせる地域づくり 若年層を中心に地方移住への関心が高まっている事を踏まえ、安心して子育てできる社会の形成を図り、移住や定住などの促進に繋げる。
18 第5回				<ul style="list-style-type: none"> ・農業の活性化には6次産業化させる必要があり、地域商社の役割が重要である。 	今回の見直しには反映しない		
19 第5回	DX	追記	暮らしやすさの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTなどの技術の進歩により、小さな地域でも自立できる時代となった。 	基本的な考え方への反映	30	IV2(3)暮らしやすさの向上 ①安心して暮らせる地域づくり 医療、教育、防災や産業など様々な分野においてICTやAI、ロボットなどの未来技術を活用し、安全、安心でより快適な暮らしの実現を図る